

# フォナック ターゲット 7.0

## ジュニアモード フィッティングガイド

このガイドには、フォナック ターゲット フィッティングソフトで利用可能なジュニアモードの使用とフィッティングに関する詳細が含まれています。本ガイドは、全ての年齢の子どもを対象としてフィッティングを行う聴覚専門家に対し、フォナック ターゲット ジュニアモードに関する詳細な説明を伝えることを目的に作成されています。

### 目次

はじめに.....	2
便利なリソース.....	2
カスタマイズ可能なジュニアモードの初期設定.....	2
顧客.....	4
機器.....	4
フィッティング.....	5
基本調整.....	6
微調整.....	6
プログラム構成.....	6
検査用の設定.....	6
サウンドリカバー2.....	7
プログラム オプション.....	7
ロジャー固有のインフォメーション.....	7
データログ.....	9
機器オプション.....	9
非ダイレクト接続の補聴器付き CROS フィッティング.....	9
ジュニアモードの初期設定の概要.....	10
記号のインフォメーションと説明およびシステム要件.....	10

## はじめに

その度合いに関わらず、難聴を抱える子供たちが年齢に合った話し方や言語能力を身につけるには、静かな環境でも騒音下でもあらゆることばの手がかりにアクセスできることが重要です。Roger™ (ロジャー)技術と、専用の小児補聴器グループである Phonak Sky™ (フォナック スカイ)を組み合わせれば、最も困難な音環境にも対応できます。

本ガイドは、ジュニアモード設定の概要、子ども向けのロジャー技術など小児用補聴器の設定に関するインフォメーション、および小児フィッティング用のフィッティング ワークフローを補助する一般的なナビゲーションを説明しています。

## 便利なリソース

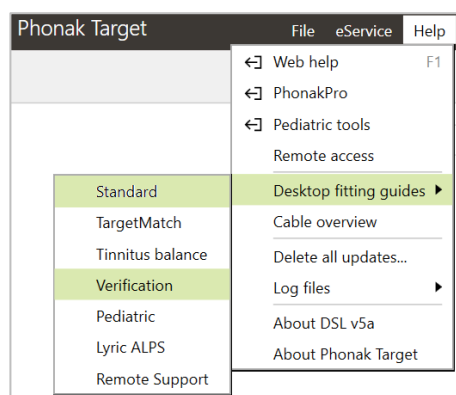
フォナック補聴器のプログラミングとフィッティングに関する追加の詳細は、フォナック ターゲットのヘルプセクションにある以下のフィッティングガイドを参照してください。

### 標準

- 補聴器の接続
- アクセサリー
- ハウリングと実耳テスト
- オーディオグラムダイレクト
- サウンドリカバー2
  - 追加情報については、Best Practice Protocol SoundRecover2 Pediatric Verification, Phonak (2016)を参照してください。

### 検証

- RECD
- フィッティングの検証

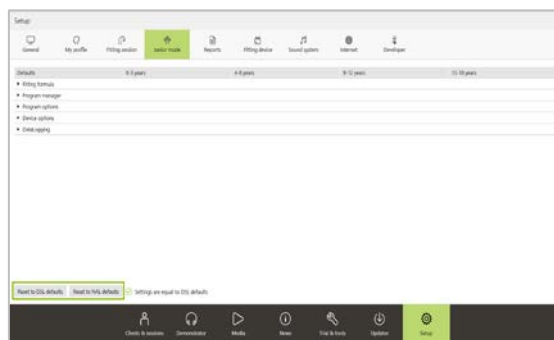


## カスタマイズ可能なジュニアモードの初期設定

ターゲットは、0-3 歳、4-8 歳、9-12 歳、および 13-18 歳の年齢層に応じて、DSL および NAL のジュニアモードで標準的な初期設定を別個に提供します。この初期設定は、フォナック小児諮問委員会および国立聴覚研究所により推奨されています。この設定により、柔軟で効率のいい小児フィッティングが開始できます。

初期設定については、本書の最後にあるジュニアモードの初期設定の概要セクションで確認できます。

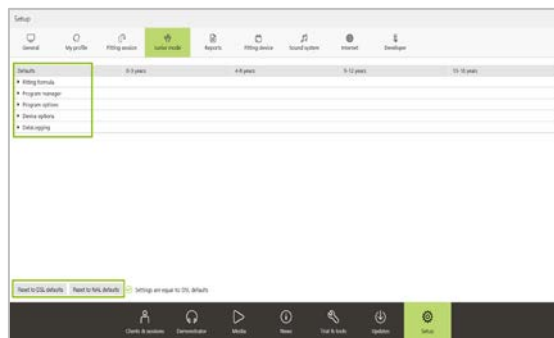
初期設定を表示するには、**[セットアップ]**で**[ジュニアモード]**をクリックしてください。



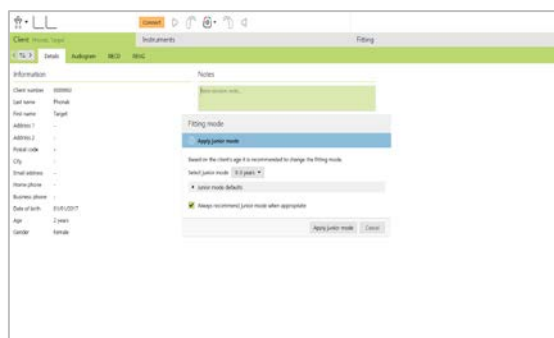
[初期設定]では、[フィッティング処方/プログラムマネージャ/プログラムオプション/機器オプション/データログ]といったトピックにアクセスできます。

各トピックのドロップダウンメニューから、今後の全ての小児用フィッティング(4つの年齢層全て)に対する設定を、個人のフィッティングニーズに合わせてカスタマイズできます。

オリジナルの初期設定に戻すには、[初期設定をDSLにリセット]または[初期設定をNALにリセット]をクリックします。

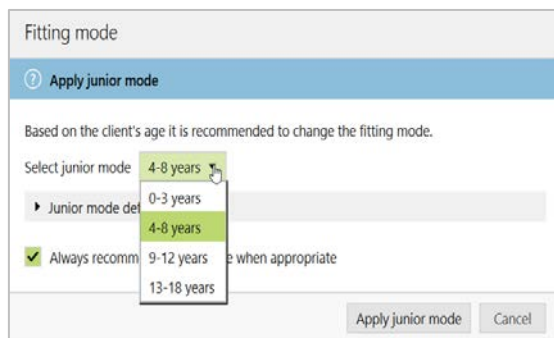


NOAH または スタンドアロンのソフトウェアに生年月日を入力すると、0-18歳の子供に対しては、ジュニアモードフィッティングのプロンプトが表示されます。



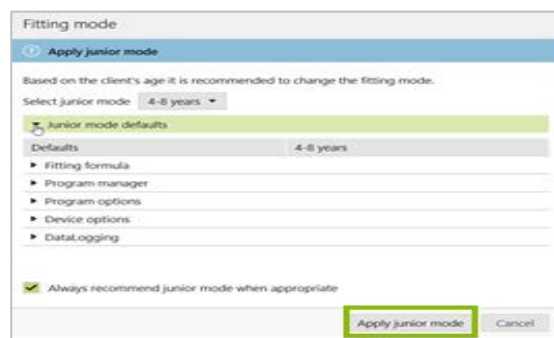
ジュニアモードの設定も、子どもごとにカスタマイズできます。

行動学的/身体的年齢が実年齢と異なっていると考えられる場合は、その子どもに適した年齢範囲を選択できます。



また、必要であれば、子どものニーズに合わせて、各トピック内の設定を変更できます。

[ジュニアモードを適用] をクリックして、続行します。



## 顧客

### オーディオグラム

NOAH または スタンドアローンのソフトウェアを使用する場合、**[顧客]** をクリックし、次に**[オーディオグラム]** をクリックすることでオーディオグラムを表示できます。

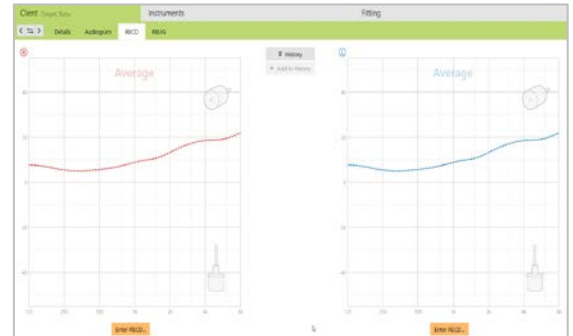
NOAH の場合、全てのオーディオグラムの履歴は、**[履歴]** をクリックすることで表示されます。スタンドアローンの場合、**[+ 履歴へ追加]** をクリックすることで、オーディオグラムを履歴に追加できます。

音声スペクトラムおよび音のサンプルは、カウンセリングに資するようオーディオグラム上に重ねて表示できます。**[音声スペクトル表示]** または **[ピクトグラム表示]** をクリックします。



### RECD

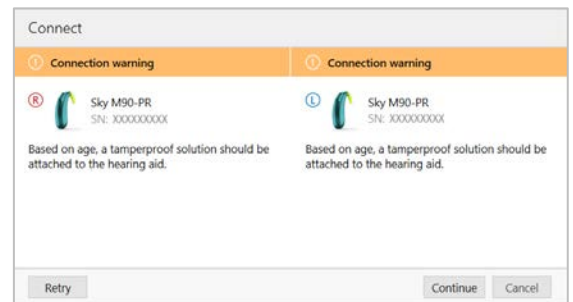
RECD 値には、**[顧客]** の **[RECD]** からアクセスできます。



## 機器

### 補聴器の接続

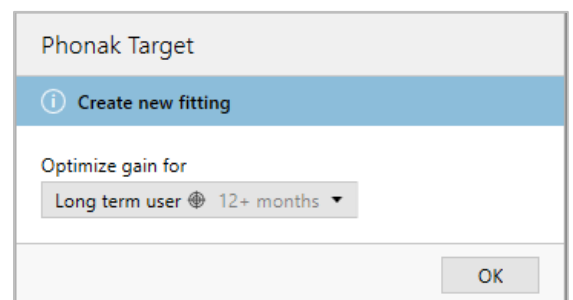
補聴器を最初に接続すると、装用者が 0-3 歳の場合には、チャイルドロック機能付きソリューションを取り付けるように通知が表示されます。接続されている補聴器にチャイルドロック機能付きソリューションがない場合には、別の通知が表示されます。



### ユーザー装用歴

ターゲットは、小児用フィッティングの作成時に「長期装用経験者」を自動的に選択します。

**[OK]** を選択して、続行します。



## 音響パラメータ

0-3 歳の装用者の初期設定における音響パラメータは、全てのレベルの難聴に対し、フック、標準チューブ、閉塞となります。

音響パラメータを変更するには、**[機器]**、**[音響パラメータ]**の順にクリックします。



## フィッティング

### ハウリングと実耳テスト

**[フィッティング]** をクリックして、**[ハウリングと実耳テスト]** にアクセスします。

ハウリングテストは、両耳で同時に行うことも、片耳ずつ行うこともできます。**[R]/[両耳で開始]/[L]** をクリックして、テストを開始します。



測定されたハウリング結果は、パープルの実線で表示されます。

レッド/ブルーのカーブは 50 dB のことばの入力に対して利用可能な利得を表し、実耳、2cc、挿入利得で表示可能です。

必要であれば、ごみ箱をクリックして結果を廃棄し、テストを繰り返すことができます。

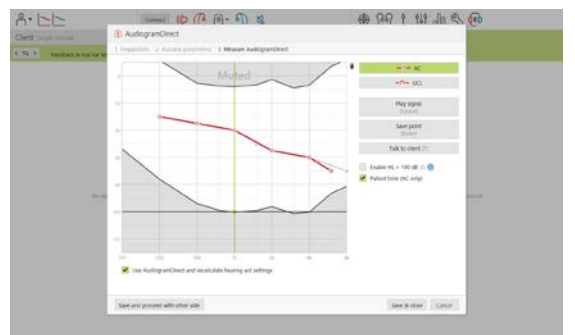


## オーディオグラムダイレクト

オーディオグラムダイレクトを年長の子どもに使用して、音響カプリングの効果を表示することもできます。

診断に使用される聴覚検査に代わるものではありません。

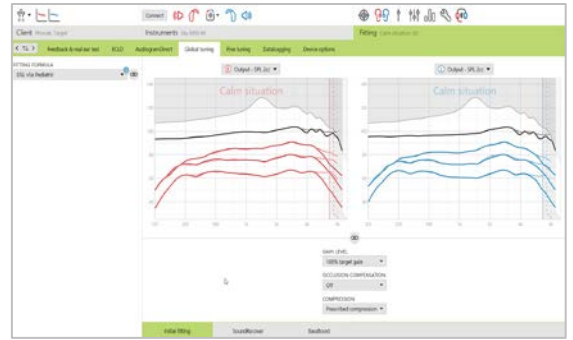
**[フィッティング]** > **[オーディオグラムダイレクト]** の順にクリックします。



## 基本調整

基本調整には、**[フィッティング]** > **[基本調整]** からアクセスできます。これを使用すればフィッティング処方を変更できますが、ジュニアモードの初期設定によって、諮問委員会推奨の原理がすでに提供されています。

**注:** DSL および NAL に関しては、ユーザー装用歴に関わらず、どちらのフィッティング処方の初期設定でも利得レベル 100% となっています。



## 微調整

微調整には、**[フィッティング]** > **[微調整]** からアクセスできます。

G50、G65、G80 カーブおよび MPO の利得調整は、**[利得&MPO]** から実施できます。

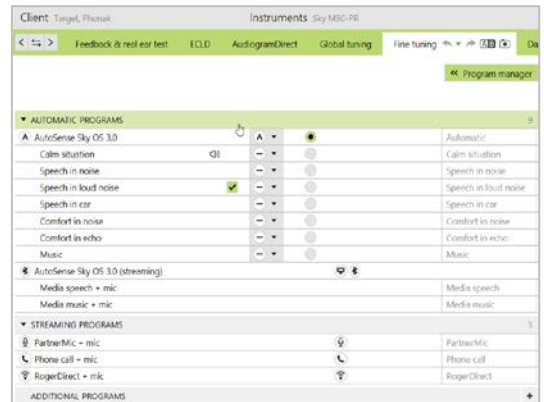


## プログラム構成

**[プログラムマネージャ]** は、微調整画面のタブからアクセスします。ここでは、スタートアッププログラム、プログラム構成、ストリーミングプログラムをカスタマイズできます。

プログラムを追加するには、**[+ プログラムを追加…]** をクリックします。

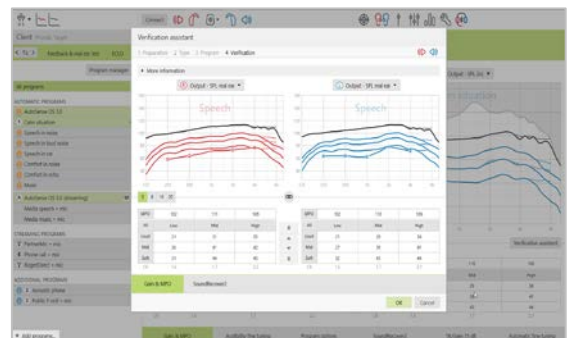
DSL および NAL フィッティング両方のスタートアッププログラム (0-18 歳) は、**[オートセンス スカイ OS]** です。



## 検査用の設定

圧縮比、周波数低下、ノイズ管理など、利得と MPO 設定の検査に影響を与え得るさまざまな変数があるので、以下に、フォナック ターゲット内で検査用の設定を使用するためのステップをまとめます。

検査用の設定には、**[微調整]** > **[利得&MPO]** > **[検査用の設定]** からアクセスできます。その後は、アシスタントの指示に従って一連のステップを行います。



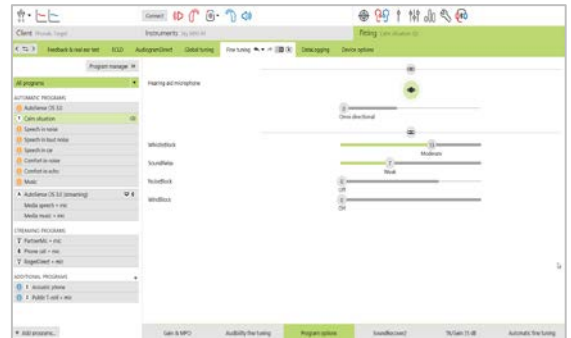
## サウンドリカバー2

サウンドリカバー2を調整するには、**[サウンドリカバー2]**をクリックします。ここでは、可聴性と識別性の他、必要であれば、明瞭性と快適性も個人に合わせて微調整できます。

サウンドリカバー2の検査に関する詳細情報については、以下を参照してください。Best Practice Protocol SoundRecover2 Pediatric Verification, Phonak (2016)。

## プログラム オプション

ノイズブロック、ウィンドブロック、エコーブロック、サウンドリラックスなどの機能では、**[微調整]** > **[プログラム オプション]**で、各プログラムに対して個別に有効/無効を切り替えたり、強さを変更したりできます。



## ロジャー固有のインフォメーション

ロジャープログラムにはいくつかのタイプがあります。

- ダイレクト音声入力(DAI)付き補聴器 - ロジャー/DAI+マイク
- コムパイロットまたはロジャーマイリンクを使用する、DAIなしの補聴器 - T コイル+マイク
- ロジャーダイレクト接続のある補聴器 - ロジャーダイレクト+マイク

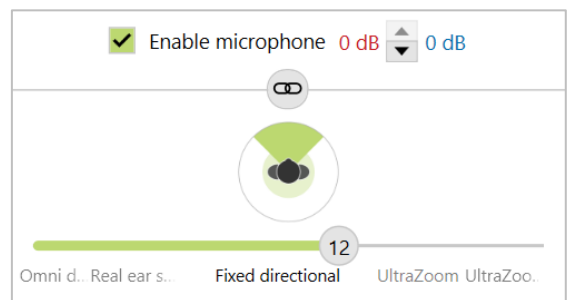
## ロジャー/DAI+マイクとロジャーダイレクト+マイクのプログラムに共通の設定

マイクロホンのタイプおよびロジャー信号に対するマイクロホンの衰弱を設定するためのオプションは、**[プログラム オプション]**で設定できます。

ロジャー/DAI+マイク および ロジャーダイレクト+マイクに利用可能なマイクロホンのオプションは3つあり、無指向性、リアルイヤーサウンドおよび指向性:固定です。

マイクロホンのオプションの初期設定を変更するには、補聴器マイクロホンのスライダーを動かします。

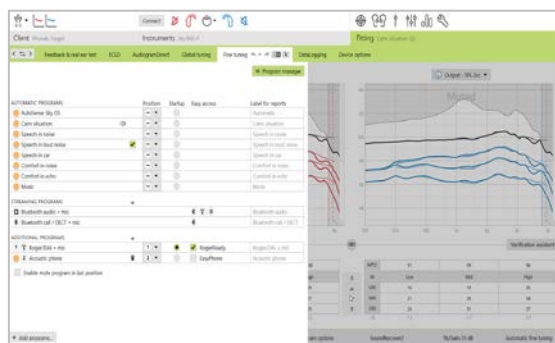
補聴器マイクロホンは、周囲の音が聞こえるように 0 dB の衰弱で設定されます。



## DAI 付き補聴器固有の設定

ロジャー/DAI+マイクプログラムは、自動的にプログラム構成に表示され、削除はできません。

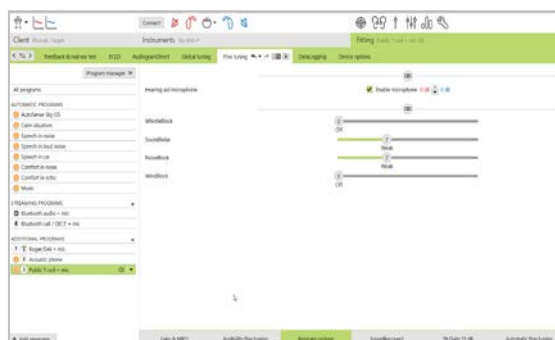
イーザーロジャー II は初期設定で有効となっている機能で、スタートアッププログラムとオートセンス スカイ OS の両方で作動します。この機能によって、受信機を取り付けられた補聴器は送信機が範囲内にある場合には、ロジャー/DAI+マイクプログラムに自動で切り替わります。



## DAI の付いていない補聴器

ロジャーマイリンクを使用するために、T コイル+マイクが自動的にプログラム構成に追加されます。

コムパイロットを使用するには、ロジャー+マイクプログラムを、コムパイロットを介してロジャーにアクセスするためのストリーミングプログラムに手動で追加する必要があります。



## RogerDirect™ (ロジャー ダイレクト)接続のある補聴器(ロジャー ダイレクト+マイク)

ダイレクト接続補聴器のストリーミングに対する切替動作の初期設定は、ロジャー用に変更できます。

- **[オートマチック]** - 補聴器は自動的に切り替わり、ロジャー信号を受信します(初期設定)。
- **[マニュアル]**
- **[マニュアル (ビープ音あり)]** - ビープ音が補聴器内で聞こえます。顧客は、ロジャー信号の受信を手動で許可します。

ロジャーダイレクトの適応行動は、スタンダード適応 (初期設定) またはデュアル適応のいずれかとなります。

- **スタンダード適応 (初期設定):** 耳鳴りノイズレベルが上がると、ロジャー信号は自動的に適応されます (最大 + 10 dB)。一方、補聴器のマイクロホンは衰弱しません。
- **デュアル適応:** 耳鳴りノイズレベルが上がると、ロジャー信号は自動的にボリュームを上げます (最大 + 10 dB)。一方、補聴器のマイクロホンは衰弱します (最大 - 10 dB)。

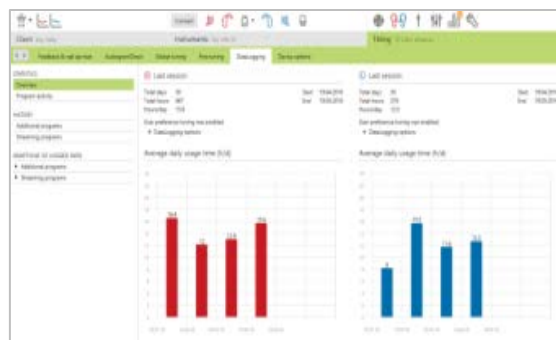




## データログ

データログは、子どもがどのような聞こえ環境にどのくらいの間置かれているのかに関するインフォメーションを提供します。

データログのインフォメーションにアクセスするには、**[フィッティング]** > **[データログ]** へと進みます。



## 機器オプション

機器オプションでは、多機能ボタン、Bluetooth (ダイレクト接続のみ)、お知らせ音と警告音、確認ランプ、スタートアップ、データログなどの機能を調整できます。

設定を変更するには、**[フィッティング]** > **[機器オプション]** へと進み、目的のタブをクリックします。



**注:** ライトには5つのパターンがあり、**[確認ランプ]**の各オプションの横にあるボックスをチェックして有効/無効を切り替えられます。

追加のオプションには、機器オン、ロジャーアクセス、低電圧、ボリューム変更、プログラム変更があります。

接続した補聴器の中のロジャー受信機の状態は、以下の方法で確認できます。

- ダッシュボードの補聴器アイコンの上にマウスポインタを重ねます。
- 画面の左側で、**[機器オプション]** > **[ロジャーダイレクト]** タブの中を確認します。

補聴器を接続すると、各オプションの横にある**[デモ]** ボタンをクリックして、補聴器で各パターンをデモンストレーションできます。

## 非ダイレクト接続の補聴器付き CROS フィッティング

### ロジャー/DAI+マイクと CROS

ロジャー/DAI+マイクプログラムが作動すると、CROS は自動的に無効になります。ロジャー信号が1分を超えて受信できないと、補聴器はスタートアッププログラムに戻ります。

スタートアッププログラムがロジャー/DAI+マイクではない場合、CROS が再び有効化され、再接続ビープ音が聞こえます。

スタートアッププログラムを変更するには、**[微調整]** > **[プログラムマネージャ]** へと進みます。スタートアッププログラムを選択し、ポジション列で1に変更します。

## ジュニアモードの初期設定の概要

### DSL 初期設定の概要

プログラム構成	0～3 歳	4～8 歳	9～12 才	13～18 歳
スタートアップ	オートセンス スカイ OS	オートセンス スカイ OS	オートセンス スカイ OS	オートセンス スカイ OS
ロジャー/DAI+マイク	リアルイヤーサウンド	指向性固定	指向性固定	指向性固定
確認ランプ	有効	有効	無効	無効
プログラムスイッチ	無効	無効	有効	有効
ボリュームコントロール	無効	無効	有効	有効

### NAL 初期設定の概要

プログラム構成	0～3 歳	4～8 歳	9～12 才	13～18 歳
スタートアップ	オートセンス スカイ OS	オートセンス スカイ OS	オートセンス スカイ OS	オートセンス スカイ OS
ロジャー/DAI+マイク	指向性固定	指向性固定	指向性固定	指向性固定
確認ランプ	有効	有効	無効	無効
プログラムスイッチ	無効	無効	有効	有効
ボリュームコントロール	無効	無効	有効	有効

## 記号のインフォメーションと説明およびシステム要件

記号のインフォメーションと説明およびシステム要件の概要はフォナック ターゲット フィッティングガイドで確認できます。

2020 年 CE マーク取得



製造元:

Sonova AG  
Laubisrütistrasse 28  
CH-8712 Stäfa  
Switzerland

